

平成27年7月14日

鹿児島大学病院 心臓血管内科 で

経皮的冠動脈インターベンション術を受けた患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院心臓血管内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】 虚血性心疾患に対する経皮的冠動脈インターベンション術（PCI）後の腎機能に影響を及ぼす因子に関する研究

【研究機関】 鹿児島大学病院 循環器センター 心臓血管内科

【研究責任者】 内匠拓朗 心臓血管内科 助教

【研究の目的】 経皮的冠動脈インターベンション（PCI）後に腎機能が悪化した場合、その後の予後が悪いとされていますが、何が原因で腎機能が悪化するか不明な点も多く残されています。本研究では、経皮的冠動脈インターベンション（PCI）後の腎機能に影響を及ぼす因子を検索することを目的としています。経皮的冠動脈インターベンション（PCI）後の腎機能障害に影響を及ぼす因子を究明することで、予防策を講じることが可能となれば、経皮的冠動脈インターベンション（PCI）を受ける患者さんの予後を改善できる可能性があると考えられます。

【研究の方法】経皮的冠動脈インターベンション（PCI）治療前と術後9ヶ月後の再検査入院時に施行した血液検査および心エコー検査のデータを基に、経皮的冠動脈インターベンション（PCI）後の腎機能に影響を及ぼす因子を検索します。

●対象となる患者さん

平成20年1月1日～平成27年2月3日までに鹿児島大学病院心臓血管内科を受診され経皮的冠動脈インターベンション（PCI）治療前と術後9ヶ月後の再検査入院時にシスタチンCの測定を含む血液検査および心エコー検査を施行されている患者さんを対象にしています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

年齢、身長、体重、血圧、内服薬、経皮的冠動脈インターベンション（PCI）時の造影剤使用量、穿刺部位、血液検査結果（シスタチンC、血糖、HbA1c、BUN、Cr、eGFR、尿酸、Hb、TG、LDL-C、HDL-C、BNP、高感度トロポニンT、高感度CRP、脂肪酸）および心エコー検査結果を利用させていただきます。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学の研究費で実施

します。企業等からの寄付は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 循環器センター 心臓血管内科

助教 氏名 内匠 拓朗

電話 099-275-5318 FAX 099-265-8447